

# くらし・福祉・子育て 最優先！

市議会議員

日本共産党

# 宇田たか子

飲む水・吸う空気まで汚染された8年前の福島原発事故。憲法9条を変えて戦争する国づくりに突き進むとする安倍政権。「子どもたちの今と未来を守るためにもっと声をあげなければ!」当時保育士だった私が政治の世界に飛び込んだ原点です。

「安心して暮らし続けたい」この当たり前の願いを全力で議会に届けます。

## プロフィール

- 1963年群馬県生まれ ●茨城大学人文学部(史学専攻)卒業 ●水戸市内の小中学校の講師を経た後、はなのわ保育園に25年勤務 ●はなのわ保育園園長 ●現在/ひたちなか市議会議員(1期目) ■好きな言葉/「一人はみんなのために、みんなは一人のために」 ■家族/1男2女 ■自宅/東石川3227-11 ☎ 090-2764-6461

## わたしも応援します!



はなのわ保育園理事長 坂主恵子

たか子さんとは20数年職場をともにしました。「平和」「原発」の姿勢は揺らぐことなく見ていてほれほれます。どこへでも学びに行く行動力もあります。この4年間願いの数々を市政に届けてもらいました。これからもより一層の活躍を応援します。



たんばぼ保育園園長 佐藤洋

1期の実績を得て、子育てや福祉に更なる拡充をして頂きたいと思います。保育情勢では目まぐるしく変わり、現場にしわ寄せが続いています。今の状況が続くと子育て世代にも大きな負担が掛かる事になります。宇田さんなら子育てしやすい市にしてくれると思います。



茨城県学童保育連絡協議会役員  
橋本幸治

宇田さんとは、保育士として、保護者として、また、子育て支援の同志として、20年にわたり共に過ごしてきました。心から信頼出来る方です。2期目に向け、教育、福祉、環境…様々な課題に対し、共に考え、立ち向かう姿に期待しております。



年金者組合 近澤重男

市民の願いを真正面から受け止め、よく勉強し、4年間毎回議会のたびごとに質問に立つなど、ひたちなか市にとって絶対に必要な議員さんです。東海第2原発再稼働反対をはじめ、誰もが安心して暮らせるまちづくりのため、全力で応援します。

## 民主ひたちなか

2019年号外

日本共産党の見解を紹介します。  
発行/日本共産党ひたちなか市委員会  
連絡先/東石川2996-5 ☎・Fax. 272-2112

## 宇田たか子のあゆみ

未来ある子どもたちが輝く  
平和な社会をめざして

●群馬県佐波郡境町(現・伊勢崎市)に生まれる。両親は共に小学校教員。保育園も育児休暇もなかった時代、必死に子育てしながら働き続ける母をみて育ちました。



中央が私・たか子

●茨城大学入学で水戸へ。大学生協の活動を通じて、平和や政治にも関心を持つなかで日本共産党を知り、夫とも出会いました。



●卒業後は小中学校の講師をしていましたが、斉藤公子さんのさくら・さくらんぼ保育を知り「自分が求めていたものはこれだ!」

と思い、27歳で保育士になり、働きながら資格を取りました。

●夫が42歳でガンを発症。3年後に亡くなりました。その時子どもはまだ6歳・9歳・12歳、保育園の仲間の支えの中で子育てしながら働き続けました。

●原発再稼働の動きや憲法改悪の動きがある中で「子どもたちの今と未来を守るために」と保育園を退職、市議選に立候補し初当選。現在、暮らしと平和を守るために奮闘中。



「戦争法」反対の国会前集会